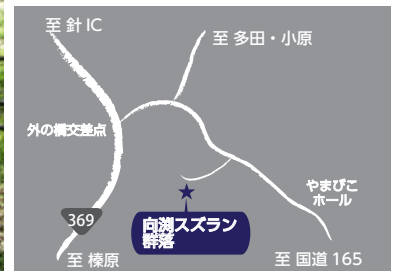


向測スズラン群落

(室生向測)



▶現地は看板や駐車場、遊歩道などが整備されています

北海道など山地や高原に咲くスズラン。自生の南限地帯として学術上、貴重であるということから、昭和5年、天然記念物の指定を受けました。

スズランは平成20年には、宇陀市の花として制定されたほか、市のマスコットキャラクター「ウッピー」は、スズランの妖精とされています。

花は、釣鐘状で白くて可憐。樹木の下草に混じってひっそりと咲きます。見頃は5月末から6月上旬。

天然記念物指定された当時は、指定地外にも広がり一大群落となっていました。年々減少していくなか、昭和44年に当時の室生村が保護のために群落地を買収しました。

以後、ずずらん保存委員会や、ずずらん山を守る会など地元の方々により、下草刈りや環境整備が行われ、往時の素晴らしい景観の再生を目指されています。



今日の
Pick Up

史跡 宇陀松山城跡 「続日本 100 名城」に選ばれる



▲宇陀松山城天守郭・本丸跡の状況

4月6日(城の日)、(公財)日本城郭協会から「続日本100名城」が発表されました。その中で、奈良県からは本市の宇陀松山城と大和郡山城の2城が選定されました。

「続日本100名城」は、日本城郭協会が平成18年に制定した「日本100名城」に続くもので、「日本100名城」と同じ基準・価値(①優れた文化財・史跡、②著名な歴史の舞台、③時代・地域の代表)に基づき選定がなされています。

宇陀松山城は、標高約473mの山頂に築かれた山城で、豊臣家配下の大名が城主となり、城の改修と城下町の整備が進められました。

この頃の大和国支配を見た場合、本城の大和郡山城を中心に高取城と宇陀松山城を支城とする3城体制を意図しており、宇陀松山城は東国に対する最前線の城であったと考えられます。しかし、元和元年(1615)には、城は破却(壊されること)され、役割を終えてしまいました。

この後、長い眠りについた宇陀松山城は、江戸時代初期のお城の構造を良く残していることが評価され、平成18年には、国の史跡に指定されています。また、かつての城下町は、のちに商家町へと発展し、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。



▲宇陀松山城本丸御殿イメージ図



▲宇陀松山城本丸跡出土鬼瓦(雷神)